

実 用 新 案 公 報

昭38-20564

| | | | | | |
|-------|-----------|----|----------|----|-------------------------|
| 公告 | 昭 38.10.4 | 出願 | 昭 34.6.2 | 実願 | 昭 34-30778 |
| 考 案 者 | 柳 沢 明 | | | | 東京都足立区梅島町 1 栗林写真工業株式会社内 |
| 出 願 人 | 栗 林 敏 夫 | | | | 東京都足立区梅島町 1 |

(全 2 頁)

一眼レフカメラに於ける自動絞り駆動装置

図 面 の 略 解

第 1 図は本実用新案要部を示す斜視図。第 2 図は同上要部平面図。第 3 図は同上反射鏡槓杆及び釈放杆側面図。

実 用 新 案 の 説 明

本実用新案は、一眼レフカメラに於ける自動絞り駆動装置に関するもので、図面について説明すれば 1 は捲上レバー 2 に連結せる捲取軸で捲取歯車 3 が固着されており、該歯車 3 と噛合う歯車 4 に偏心して捲上ピン 5 が植着されチャージ杆 6 の長孔 7 に臨んで摺動し該チャージ杆 6 はカメラ本体に左右方向に往復自在に装着されている。

軸 8 には駆動杆 9 及び起動杆 10 が旋回自在に軸着されおのおのの一端を固着されたスプリング 11 により、該起動杆 10 の屈曲部 12 に駆動杆 9 は常に圧接され前述駆動杆 9 と起動杆 10 は共動し、軸 8 に巻き込まれたスプリング 13 により、右旋回の習性が与えられている。

駆動杆 9 の先端部 14 はレンズ鏡胴部材の絞り操作環に接続し又爪部 15 は釈放杆 16 と係合されるが、該釈放杆 16 は軸 17 に揺動自在に軸着され巻き込まれたスプリング 18 により右旋回の習性が与えられ尾端部 19 は公知の作用をなす反射鏡 20 の跳ね上げ用槓杆 21 の切欠部に係合されている。

更に起動杆 10 の係止部 22 は掛止杆 23 の鍵部及びチャージ杆 6 に植着された突起 24 と係合する如くなされ、該掛止杆 23 は軸 25 に揺動自在に軸着し、巻き込まれたスプリング 26 により右旋回の習性が与えられ、その他端はシャッター後幕軸に連結せる歯車 27 の突起 28 と衝合する如く配設されている。

上述装置に於いて、捲上レバー 2 を捲上げれば介在せる伝導機構により第 2 図に示す如くチャージ杆 6 は矢印 A 方向に摺動されるため起動杆 10 はチャージ杆 6 の突起 24 と係合しスプリング

13 に抗し左旋回され掛止杆 23 にて係止されるのであるが駆動杆 9 の爪部 15 は釈放杆 16 に係止されているのでスプリング 11 には緊張が与えられるのみで捲上終了後チャージ杆 6 は原位置に復帰する。

しかる後シャッター鈕を押圧し反射鏡が跳ね上げられると反射鏡 20 の跳ね上げ作動初期において第 3 図に示す如く槓杆 21 の上昇により切欠部に係合せる釈放杆 16 の尾端部 19 にてスプリング 18 に抗し右旋回するため駆動杆 9 の爪部 15 との係止は外されスプリング 11 の緊張により該駆動杆 9 は左旋回し、先端部 14 に接続せるレンズ鏡胴部材の絞り操作環を作動して予め設定された絞度だけ絞り込むものであるが、駆動杆 9 は絞り調整環によって制御される作動範囲内だけ絞り操作環を作動させ駆動杆 9 のより以上の作動力はスプリング 11 の伸張により吸収されて絞り操作環の作動は強制されない。

シャッター後幕走行終了時に回動されてきたシャッター後幕軸に連結した歯車 27 の突起 28 に衝合し左旋回される掛止杆 23 により起動杆 10 の係止部 22 との係合を外され、該起動杆 10 は駆動杆 9 を伴って、スプリング 13 の緊張により右旋回されるので駆動杆 9 の先端部 14 に接続せる絞り操作環を逆作動して絞りを開放の状態とし、原位置に復帰して来る駆動杆 9 の爪部 15 は釈放杆 16 により再び係止される。

従来周知の自動絞り駆動機構はレンズ鏡胴部に設けたレバーを押圧して絞りを開放の状態にし、シャッター作動前この係止を外された絞り操作環の絞り込みスプリングにより所定の絞りまで絞り込む方法か又は、絞り操作環に設けた絞り開放スプリングに抗して絞り駆動機構によりシャッター作動前に絞り込みシャッター作動後その係止を外し開放の状態になさしめる方法が多用されているが構造的にも絞り込み及び開放復元機構は極めて

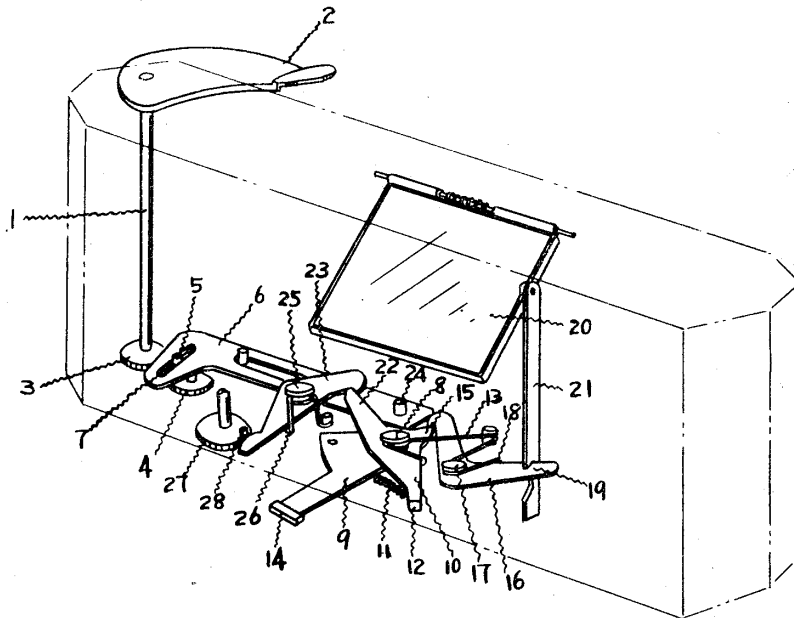
複雑であり迅速な連続撮影には不手際を生じる欠陥が見られ実用上適し難い憾がある。しかるに本実用新案は上述せる障害を解決し簡素化された機構によりいかなる絞りを設定されても自動的に絞りを作動して常にファインダー内の画像も最大明度に保たれて測定も容易となり実用上有益である。

登録請求の範囲

図面に示す如く捲上軸1と連結せる伝導部材によりボテ-底面に平行摺動させる如く配設したチャージ杆6に突起24を設け、該突起24と係合せる起動杆10はスプリング13によって回動習

性を与えらると共に同軸上に併設せる駆動杆9との間にスプリング11を張装し該駆動杆9の先端部14はレンズ鏡胴部の絞り操作環に接続せる如く配設し反射鏡20の積杆21に係合しその上昇作動によって解除作用を受ける釈放杆16を該駆動杆9爪部15に対して設け、シャッター後幕軸に連動してその走行終了時に解除作用を受ける掛止杆23を該起動杆10の係止部22に対して設けて成る一眼レフカメラに於ける自動絞り駆動装置の構造。

★ 1 図



★ 3 図

